

# 令和6年度 学校経営方針・教育目標

## 1 校訓・教育目標

- 【校 訓】 敬愛・協調・正義  
【教育目標】 人間尊重の心を持ち、向上心旺盛な生徒を育てる

## 2 教育方針

生徒との心のふれあいを大切にし、一人ひとりの生徒のよいところを認め、温かい人間関係と信頼関係を築く

## 3 めざす生徒像・教師像・学校像

### 【めざす生徒像】 『兼六魂』

- ・進んで学び、深く考える生徒（かしこい兼六中生）
- ・明るく、思いやりのある生徒（やさしい兼六中生）
- ・心身を鍛え、困難に耐える生徒（たくましい兼六中生）

### 【めざす教師像】

- ・生徒の成長と将来の幸せを願い、教育的な使命感と情熱をもつ教師
- ・教育の専門家としての自覚と誇りを持ち、学び合い、学び続ける教師
- ・豊かな教養と社会性を身につけ、保護者・地域から信頼される教師

### 【めざす学校像】

- ・生徒が自らの成長を実感できる場としての学校
- ・保護者が安心して我が子の教育を託せる学校
- ・地域にとって信頼のおけるパートナーとなる学校
- ・生徒、保護者、地域、職員が愛着と誇りを持てる学校

## 4 経営方針（経営の基調）

- (1) 基礎・基本を身につけ、意欲を持って学習する生徒の育成に努める。
- (2) 規範意識の醸成を重んじ、落ち着いた生徒集団を育てるとともに、いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、組織的な早期対応に努める。
- (3) 個を尊重し、自主的・自発的な精神を養い、心豊かでたくましい生徒の育成に努める。
- (4) 自己有用感を育み、適切な人間関係を築こうとする態度を育てる。
- (5) 教職員としての資質向上を図るため、研修の充実に努める。
- (6) 小学校、家庭、地域と連携を深めることにより、生徒の健全育成に努める。

## 5 中期的な取組の重点

- (1) 生徒一人ひとりの良さを認め、その可能性を伸ばすように努める。
  - ① 自己有用感を高めるとともに、他を尊重し、他を思いやる温かい心を育てる。
  - ② 学校行事や部活動など様々な教育活動を通して、生徒と教師、生徒相互の人間関係づくりを推進する。
  - ③ いじめや不登校の未然防止のため、教育相談体制の充実に努める。
  - ④ 規範意識の醸成と基本的な生活習慣の定着の徹底を図る。
  - ⑤ 生徒の自己実現に向けて、3年間を見通した進路指導・生き方指導に努める。

- (2) 基礎・基本を定着させ、自ら学ぶ意欲や確かな学力の伸長に努める。
  - ① 授業における学習規律および学年に応じた家庭での学習習慣の定着に努める工夫をする。
  - ② 学習意欲を引き出す課題の設定、ICT機器の積極的活用、主体的・対話的で深い学びを取り入れた学習形態の工夫により、学ぶ喜びが実感できる授業づくりに努める。
  - ③ 特別支援教育の知見を生かした指導について学び、実践に取り入れる。
- (3) 心豊かな学校生活をおくるため、潤いのある環境づくりに努める生徒を育成する。
  - ① 気持ちのいい挨拶ができるようにする。
  - ② 仲間の個性や良さを認め合い、仲間とともに学び高めあえる学級・学年集団を育てる。
  - ③ 仲間とともに協力して、問題解決に取り組もうとする実践的な態度を育てる。
  - ④ 様々な機会を通して、ひたむきに努力することの大切さを教え、心身ともに健康な生徒を育てる。
  - ⑤ 整然とした、落ち着いた環境、安全な学校づくりを推進する。
  - ⑥ SDGs（持続可能な開発目標）教育を推進する。
  - ⑦ レジリエンス教育を推進する。

## 6 本年度の重点目標

- (1) 落ち着いた環境・集団作り（挨拶、コミュニケーション、人権意識、規範意識）
- (2) 心の健康（レジリエンス教育、ICTを活用した道徳授業）
- (3) 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学び（指導の個別化と学習の個性化）と、協働的な学びの実現
- (4) GIGAスクール構想の推進に向けたICT機器の積極的な活用
- (5) 学習指導要領に基づくカリキュラムマネジメントと評価
- (6) 教職員の協働体制（学び合い、助け合い）
- (7) 業務改善による働き方改革

## 7 金沢型小中一貫教育に向けた具体的な取組

- ・小中一貫の意義を児童生徒の教育という視点で再確認し、有益で実質的な連携を深める。

## 8 教職員の業務適正化に向けた具体的な取組

- ・金沢市立学校の教育職員の業務の量の適切な管理等に関する規則（R5.4.1施行）に基づいた改善を行う。
- (1) 時間外勤務上限時間を遵守する。
  - (2) 毎日の最終退校時間目標と月2回以上定時退校日を設定する。
  - (3) 学校評価に時間外勤務縮減に関する項目を設定し、取組状況・成果の点検を行う。
  - (4) 部活動の活動時間の制限、休養日の設定を遵守する。

## 9 若手教員早期育成プロジェクトにおける具体的な取組

- ・日常的なOJTと定期的研修

## 10 コミュニティスクールとしての具体的な取組

- ・学校運営協議会の開催（年2回）